

公開講演 2016年12月3日(土)午後6時～8時 「子どものしんどさに寄り添う ー高校生居場所カフェー」

近年、非正規雇用労働者の割合は、全体の4割近く、年収200万円以下の労働者は、全体の3割となっています。このように経済格差が広がっていく不安定な労働環境の中で、「ワーキングプア」・「ネットカフェ難民」となった若者達の存在や、一人親世帯・女性と子どもの貧困が、大きな社会問題としてクローズアップされるようになりました。

今年度、大阪希望館（大阪市北区）では、困窮者総合相談支援室Hippo（ひぽ）（大阪市西成区）、支縁のまち羽曳野希望館（羽曳野市）、大淀寮OB会事務局（大阪市北区）の3団体とともに、「困窮者の状態別支援資源と広域機関形成事業」と銘打って、住まいをなくした人、住まいはあるがさまざまな事情でそこに住めない人などに対する課題別シェルター事業を進めています。この事業は、独立行政法人福祉医療機構が実施している平成28年度社会福祉振興助成によるものです。

今回の公開講演会は、連続研修会の第2回（第1回は大阪希望館の企画で11月16日に実施）として、大阪府内の高校と連携しながら高校生への居場所提供・生活相談などを行っている一般社団法人office ドーナツトークの相談員2人を講師に招き、羽曳野市で開催します。

日時：2016年12月3日（土） 午後6時～8時

テーマ：「子どものしんどさに寄り添うー高校生居場所カフェ」

講師：ドーナツトークの「高校生居場所カフェ」スタッフ2人

場所：羽曳野市市民会館会議室

（近鉄南大阪線「古市駅」下車、北へ5分。）

参加費：200円（資料代）

的場聡行氏

奥田紗穂氏



主催：大阪希望館

共催：困窮者総合相談支援室 Hippo.

大淀寮OB会事務局

支縁のまち羽曳野希望館

（企画実施担当）

連絡先：090-1131-8771

（羽曳野希望館 渡辺）